

Duo の会コンサート プログラム

2021 年 10 月 31 日 at 東村山市富士見公民館ホール

1. **ガブリエルのオーボエ** : エンニオ・モリコーネ作曲 演奏: ヴァイオリン 給田俊哉、ピアノ伴奏 上野亜依

1986 年のイギリス映画「ミッション」(日本公開:1987 年)。主演、ロバート・デニーロ & ジェレミー・アイアンズ。ガブリエル神父が先住民との出会いの場面で演奏するととても印象的な曲。後日このメロディーに歌詞がつけられ、サラ・ブライトマンによって歌われた。

2. **ルーマニアンダンス** : バルトーク作曲 演奏: ヴァイオリン 給田俊哉、ピアノ伴奏 上野亜依

1915 年の作曲。6 曲からなる構成 (棒踊り、帯踊り、踏み踊り、角笛の踊り、ルーマニア風ポルカ、速い踊り)。原曲はピアノの小品での組曲。バルトークの最良のルーマニアの友人であり、また最も民謡採集に協力した人物のイオン・ブツィアに献呈された。民族的なメロディーの多様な展開をお楽しみ下さい。本日はヴァイオリンとピアノによる演奏。

3.-1) **野薔薇** : シューベルト作曲、ゲーテ作詞 演奏: ソプラノ 上野菜摘 ピアノ伴奏 上野亜依

童(わらべ)は見たり 野中の薔薇、この曲でのわらべ(少年)はゲーテ本人、薔薇は女性のことを意味し、ゲーテの実体験に基づき作られ、当時好んでいた女性に贈られたと言われている。シューベルトの初期の曲の中でも傑作と言われ、魔王とならび有名で学校の音楽の教科書にも載っている。シンプルな曲のなかでも少年と薔薇の心の変化をよく表現している美しい曲。余談ですが、私はこの曲を高校 1 年生の音楽の歌唱テストで歌い、当時の先生に声楽の道に進んでどうかと提案をされ今に至ります。そんな、人生の方向転換のきっかけになった、個人的にも思い入れのある曲です(^)

3.-2) **菩提樹** : シューベルト作曲 ヴィルヘルム・ミュラー作詞 演奏: ソプラノ 上野菜摘 ピアノ伴奏 上野亜依

シューベルトの歌曲集「冬の旅」のなかの 5 番目の曲。街にしげる菩提樹の木を見て、その木陰で恋人と甘い夢を見、愛を刻んだ過去を思い出すという、切ない曲です。日本でもよく歌われており、近藤朔風さんの詞が有名です。今回はあまり未練のある感じではなく、昔の良さ思い出を思い出した、という雰囲気です。どうぞお楽しみください。

4. **樅(もみ)の木** : シベリウス作曲 演奏: ピアノ独奏 上野亜依

交響曲や交響詩など、どちらかという大曲のイメージのあるフィンランドの作曲家シベリウスによる、ピアノ小品。こちらは「5 つのピアノ小品」という、それぞれに木の名前が付けられたユニークな曲集の第 5 曲ですが、穏やかなメロディー、美しく繊細なハーモニーを伴った抒情的なフレーズで、わずか 3 分ほどの曲の中に詩情あふれる見事な情景描写が込められた聴き応えのある 1 曲。長く厳しい冬をのなか、春を待ちじっと耐える北国の樅の木。冬の夜にぴったりの 1 曲です。

5. **6 つの小品 作品番号 118 第 2 番 間奏曲** : ブラームス作曲 演奏: ピアノ独奏 星田千恵

ブラームスの作品の中では広く愛好されている小曲。メロディックな曲ではあるが、冒頭の動機はあとから転回形で使用されたり、中間部では、はじめの旋律線が内声部でカノンのように扱われたり、かなり技巧的な曲でもある。

6. **夢** : ドビュッシー作曲 演奏: ピアノ独奏 上野亜依

フランスのクロード・ドビュッシーの若い頃の作品。彼本人は、駆け出しだった頃のこの作品をあまり気に入っていませんでしたが、美しくロマンティックな旋律、ドビュッシーらしい、もやが、かかったような淡い色彩を感じる曲想は、多くの人に愛され、ピアノ以外の楽器で演奏される機会も多い、紛れもない名曲の一つ。

7. **カッチーニのアヴェマリア** : 作曲者は?? 演奏: ヴァイオリン 給田俊哉 ソプラノ 上野菜摘 ピアノ伴奏 上野亜依

真の作曲者は、旧ソ連の作曲家ウラディーミル・ヴァヴィロフ。ヴァヴィロフは、自身の作品を神秘化するため、昔の古典作曲家の名前を借りて発表。カッチーニ『アヴェマリア』については、ヴァヴィロフは「作曲者不詳」のアヴェマリアとして当初は発表。彼の死後に演奏家らがカッチーニの名前でレコーディングを行ったため近年までカッチーニ作として広まってしまっている。今回はソプラノと、ヴァイオリンの DUO で演奏。

8. 赤とんぼ変奏曲 : 山田耕筰作曲

演奏: ピアノ独奏 星田千恵

山田耕筰作曲の歌曲「赤とんぼ」をテーマとした5つの変奏曲。第1変奏は流れるような装飾、第2変奏は日本の琴の音階、第3変奏は現代的な鋭い響き、第4変奏は交互に現れる三拍子と四拍子、第5変奏はソナチネ風の軽やかさを特徴とし、最後にテーマが再び現れる。

作曲者が中学生の頃、転勤先のアメリカ西海岸にて日本をなつかしむ気持ちで作曲された。

8. 「日本の四季」より 抜粋 : 中田喜直作曲

演奏: ピアノ連弾 上野亜依、星田千恵

日本を代表する作曲家のひとり、中田喜直による、ピアノデュオのために書かれた組曲。春から始まり、夏、秋、冬を経て最後はまた春で終曲となる。

今回は、秋と冬～春、最後の2曲を演奏。彼自身の作曲した唱歌、「もみじ」や「まっかだな」「小さい秋」「雪の降る街を」「早春賦」などの曲が随所に現れ、日本の四季の移り変わりの美しさが見事に音楽で表現されている。

ぜひ、どの場所に使われているか楽しみながら、お聴きください。

出演者プロフィール

給田俊哉 <ヴァイオリン>



長野県出身。伊那北高等学校、慶應義塾大学卒業。

4歳よりヴァイオリンを始め慶應義塾大学ワグネル・ソサイエティー及び同OBオーケストラのコンサートマスターを歴任。

フルート奏者・平野靖氏とジョイントリサイタルを、クラリネット奏者・木下尚慈氏とジョイントリサイタルを開催。

現在は、OBオーケストラを中心に、JAO、その他アマチュアオーケストラなどにて精力的に演奏活動を継続。

スズキメソードOB・OG会副会長、東村山三田会会長。

デュオの会メンバー・プロフィール

上野 亜依<ピアノ>



国立音楽大学音楽学部演奏学科・鍵盤楽器専修卒業、同大学ピアノコース修了。

これまでに渡部和子、星敬子、三木香代、菊永良枝の各氏に師事。現在は東大和市湖畔にて「上野亜依ピアノ教室」を主宰し、後進の指導にあたる傍ら、出身地である福島県会津や東京を中心に、アンサンブルやソロでジャンルを超えた演奏活動を精力的に行っている。

上野 菜摘<ソプラノ>



国立音楽大学音楽学部演奏学科声楽専修、同大学声楽コース修了。在学中はクラシックを中心にオペラや歌曲を学び、卒業後はコーラス、ミュージカル等幅広く活動。

2015年劇団四季オーディション合格。2016年ウェストサイド物語 somewhere (ソプラノソロ) として出演。

2014年～2017年神楽坂 LIVEHALL The Glee プロデュースによるアンサンブルユニット TokyoGlee リードボーカルとして活動。

ユニットとしてミュージカルCD「Memoly」をリリース。

星田 千恵<ピアノ>



東京音楽大学音楽学部音楽学科ピアノ専攻卒業。昭和音楽大学大学院音楽研究科修了。

2004年ワルシャワ・ショパンアカデミー・ピアノセミナーに参加。

これまでに草川宣雄、金井紀子、浅見陽子の各氏に師事。

現在、所沢市久米にて「ほしだピアノ教室」を主宰し、後進の指導にあたっている。

リトミック研究センター上級指導資格、PTNA指導者会員。